

Via 指高

Vol.34

令和2年7月20日
県立指宿高等学校
☎ 0993(22)3535



ブログはこちる

後輩へのメッセージ

指宿高校で頑張っています!!



坂上 桜子
(開闢中出身)

私が指宿高校を選んだ理由は、学力を向上させ大学に進学するほどの力を身につけることができる学校だと思ったからです。授業では難しい問題は友達同士で教え合い、わからないところや気になるところを先生方に質問したりして理解を深めることができます。友達同士の教え合いは、自分がわからなかったところを理解できます。そして、自分が見落としていたところに気づくことができ、復習のときに役立ちます。指宿高校の学校生活は楽しいです。違う中学校の出身でも、仲良くなり楽しい会話をしていて明るい学校です。中学生の皆さん、指宿高校に来ませんか。皆さんが来るのを待っています。



出口 小晴
(南指宿中出身)

私が入学してからこれまでの間に感じた指宿高校の魅力を紹介します。まず、指宿高校といえば「アクティブラーニング」です。授業中、生徒同士で教え合うことで「わかった!」という勉強の楽しさを知ることができました。また、1年生のうちから自己分析の時間など将来に役立つ取り組みがあるので進路の幅が広がります。

私はどこを受験するか迷って指宿高校に決めました。皆さんも自分が行きたい高校、したいことは何か、よく考えて志望校を決めてください。皆さんが指宿高校に入学することを待ちにしています。



中野 泰聖
(西指宿中出身)

私は「まだ夢が決まっていない」という理由で指宿高校を選びました。指宿高校は普通科なので、これから色々な選択ができると思ったからです。

指高のイメージは勉強だと思います。確かに勉強は大変ですが、そのぶん分かればものすごく楽しいです。しかも分からぬところは、先生や同級生聞きやすい雰囲気があるという点もとてもいいと思います。そのおかげで勉強が苦手だった私なんとか授業中に理解しています。授業でモヤモヤ感を残さないところが指宿高校の一番の魅力だと思います。先生方も一人ひとりがとても優しく、わかりやすく最後まで教えてくれます。



松永 亜美
(頤暉中出身)

私が指宿高校を志望した理由はアクティブラーニングを使った授業など学習しやすい環境が整っていて魅力的だったからです。

日々の学習は難しい問題もあり大変な部分もありますが、わからないところはお互いに教え合うなどして、一生懸命取り組んでいます。

高校生になって授業を通して説明をする機会が増えたせいか、自分の意見をわかりやすく伝えることができるよう少し成長したと思います。また、すき間時間を利用するなど、時間を有効に使えるようになり、充実した生活を送っています。



立根 涼太郎
(北指宿中出身)

僕が指宿高校を選んだ理由は、通学時間が短いからです。通学時間が短いと部活にも参加しやすく、文武両道に励むことができます。

高校に入学してから自主学習の習慣化を心がけるようになりました。高校の勉強は当然難しくなりましたが、自主学習で基礎を身につけ、高校で習う内容も効率よく学ぶことができると思います。

指宿高校は先輩・後輩も関係も非常に良いので、充実した高校生活を送ることができます。ぜひ、皆さん指宿高校に来てください。

野球部



私たち野球部は、3年生4人、2年生5人、1年生1人の計10人で活動しています。

人数は少ないですが、野球ができることへの感謝の気持ちを忘れず、選手一人一人が目標を達成するため日々鍛錬磨しています。野球部の良いところでもある仲の良さ、チームワークの良さを生かし、これからも頑張ります。応援よろしくお願いします。



部活動紹介

書道部



私たち書道部は新留先生、松元先生、山口先生のご指導のもと、3年生3名、2年生2名、1年生4名の計9名で活動しています。

書道部というと、一見静かで堅いイメージをもたれがちですが、部員同士とても仲が良く毎日ぎやかで楽しい部活です。

普段は個人で作品展などに出品する作品の練習に取り組んでいます。昨年度は地区大会や県大会でたくさん賞をいただくことができました。今年度も昨年度に負けないくらい賞をいただけるように、部員一同頑張っていきたいと思います。

そして、文化祭では例年とはまた違ったパフォーマンスに挑戦します。皆様の心に残るパフォーマンスになるよう精一杯演技しますので、応援よろしくお願いします。

1学期の行事





ROAD TO SUCCESS

～合格体験記～



株式会社吉丸組 山崎 琉奈

明確な目標ができたのは高校2年生の時にほんと行った職場体験でした。その職場体験で女性の方がクレーンを操縦しているのを見て私も重機を操縦したいという目標ができました。2年生のころまでは進学を希望していましたが、両親と何度も何度も話し合い、3年生では就職を選択しました。

4月から私はみんなより早く社会人になります。就職だから勉強しなくていいと思われ、きつい思いをしてきましたが、今でも担任の先生の言葉が心に残っています。「かっこいいね。就職なんて怖い決断、よく出来たね。」シンプルな言葉ですが、悩んでいた私は先生のこの言葉に背中をおされました。

私の選択は間違つていなかつたんだと思えました。先生にはたくさん迷惑かけたのに、たくさん支えてもらいました。泣いたこともあつたけど、内定が決まって一番喜んでくれたのは担任の先生だった気がします。まだ将来の夢や目標が決まってないで悩んでいる人もいると思います。どうしても不安な時は友達や先生方、家族に話してみてはどうですか。すっきりするかもしれません。人生は一度きり、悩んで悩んで、後悔しない道を選んでください。応援しています。

自衛隊一般曹候補生 濱田 奈那実

1年の3学期くらいから進路について親と話しあはじめ、父が自衛官だったというのもあり、自分の選択肢の中に自衛官がでてきました。不安もありましたが、試験内容を調べてみると、国、数ⅠA、英という高1の範囲でした。これなら自分でも受けることができると思い、2年の1学期には、進路先を決めました。2年の夏には過去問を買うなどはしましたが、試験まで2ヶ月というところまでできてやっと本気モードになりました。応援団練習が終わってからも視聴覚室に残り学校がある日は、20時まで、苦手な数・英を先生たちに遅くまで教えてもらいました。2学期に入り、次は面接練習に入りました。面接は恥ずかしくて嫌がる人が多いと思いますが、私は「自分がなぜ自衛隊を志望したのか」その理由を面接官に話したくてしかたなかったです。その理由は、たぶん自分のその職に就きたいという意志が強かったからだと思います。もし落ちたとしても、受かるまで自衛隊を受けるつもりでいました。親は反対せず、受かるまで受けろということだったので、自分の好きなように受験できたのも1つだと思います。私は自分の体験から言うには、自分のやりたいことをしっかりと見つけ、親と話すことが大切だと思いました。

定期演奏会

6月21日(日)本校体育館にて定期演奏会が開かれました。

3密を避けるため会場や日程に苦慮しながら、晴れてこの日を迎えることができました。

会場にはたくさんの地域の皆様、保護者の皆様、また同級生や中学生の姿もありました。

ご来場くださり誠にありがとうございました。

鹿児島大学法學部法経社会学科法学コース 海江田 友香

気が遠くなるほど長かったような、驚くほどに短かったようなこの1年。終わりの見えないまゝ暗な時間。ただひたすら自分と向き合うだけの日々。(中略)休み時間やちょっとした隙間時間は全て貴重な勉強時間。何もない時間をなくし、常に単語帳やまとめノートを見る習慣をつけた。他の人がしゃべっている時も、自分はそんな余裕はないと言い聞かせた。体調崩して熱が1、2週間続いた時もあったが、解熱剤を飲みながらただ勉強した。辛かった。ただひたすらにしんどかった。模試でもずっと悪い判定ばかりで、親にも「もう私立しかないな」と言われ続けて。帰り道や1人の時にたくさん泣いた。でも私は、行きたい大学に行くために、将来の夢を叶えるために、何度も転んでも歯を食いしばって、目の前にある壁を1つずつ壊していく。だからこそ「今」がある。頑張り続けても、苦しみ続けても必ず結果が出るとは限らない。必死に勉強しても、必ず合格するわけではない。でも諦めたら何も始まらない。だからやるしかない。耐えて、耐えて、耐え抜いてあなただけの「未来」を掴み取って。

鹿児島県立短期大学文学科英語英文学専攻 水流 帆香

私は推薦入試で合格しました。私は進路を決めたのも、他の人と比べたらとても遅かったと思います。ですが、決めるのが遅かった分推薦入試を受ける準備は早くから始めようと思い、小論文も面接も人より早めに対策を始めました。面接と小論文は練習すればするだけ上手くなると思います。私は受験科目が日本語・英語の面接、英文の小論文でした。私は、英語はあまり得意ではないので、人の倍練習しようと目標を決めました。実際、私の周りの友達の誰よりも対話をしてきたと自信を持って言えます。英語は得意ではありませんでしたが、自分が興味を持っていて、できるようになりたいという気持ちが強かったからこそ、最後まで頑張ることができました。

最後に、指宿高校には、一人一人と向かい合い親身になって私たちのことを考えてくださる素敵な先生方がたくさんいます。自分がその気になれば、先生方はどこまでもついてきてくださいます。私自身、先生方の言葉に何度も励まれ、何度も助けられました。苦しいこともたくさんありました。しかし、合格できたときに私より喜んでくれた先生方・友達そして家族の姿を目にしたら、頑張ってきてよかったと心の底から思えました。みなさんも頑張ってください！

夏のコンクールで演奏するはずだった課題曲や、なじみのある曲など、心が満たされるような演奏はもちろんのこと、堂々とした歌声も響き渡りました。1年生のダンスや仮面をかぶるパーカッションチームも会場を盛り上げていました。



鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻 天野 愛

私の受験は回り道がかなり多かった。そんなときに、ある障がい児の母親が描いたという漫画をふと見つけた。私の近隣に知的障がいを持った子がいたり、私がボランティアとして障がいを持つ子供と触れ合ったりなど、無意識に自分から関わりに行っているものがあることに気づいた。その漫画の中に障がいを持っていても幼い頃から訓練をすれば症状が軽くなることが多いことや作業療法士の方と一緒にできるようになっていく子供を見て安心する母親の姿などに衝撃を受けた。私がこの漫画を知ったのは推薦委員会の1ヶ月前。そこから作業療法士とは何かを寝る間も惜しんで調べた。正直、これまで一番楽しいと感じた。それからはやる気の出なかった勉強も積極的に取り組むようになった。元から勉強することは嫌いではなかったので、2次対策の時には楽しんでいた。苦手、嫌いな所を勉強して、何度もやつてもできなくて苦しいときには、一回ハメをはずしてストレスを発散してからもう一度取り組むことを繰り返していると乗り越えることができた。



5月18日から2週間に本校卒業生3名が教育実習をしました。授業だけでなく、休み時間や放課後により多くの生徒と触れ合い、質問や相談、大学の話や受験のアドバイス等をしてくれました。

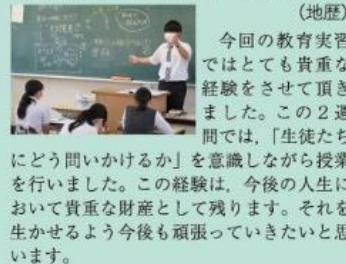
教育実習

駒澤大学 木下 楓さん (公民)



2週間という短い期間ではありますでしたが、大変お世話になりました。「生徒が何かをできるようになること」を念頭に置き接していくことは難しくもあり、やりがいを感じる部分でもあると思いました。2週間の経験を今後に生かしたいと思います。

福岡教育大学 松元 琳太郎さん (地歴)



今回の教育実習ではとても貴重な経験をさせて頂きました。この2週間では、「生徒たちにどう聞いかせるか」を意識しながら授業を行いました。この経験は、今後の人生において貴重な財産として残ります。それを生かせるよう今後も頑張っていきたいと思います。

秀明大学 谷口 龍平さん (数学)



2週間という短い期間でしたが、充実した実習生活を送ることができ、嬉しく思います。緊張と不安でいっぱいだった初日が、最終日には、楽しく生徒と話をしたり、数学を教えたことの思い出と変わっていました。改めて「教師」という職業の重さとやりがいを実感することができました。この経験を生かして今後も頑張っていきたいです。